

(公財) 原子力環境整備促進・資金管理センター
第25回 最終処分積立金運用委員会 議事録

1. 日 時 平成24年 5月21日 (月) 9:30~10:30

2. 場 所 東京都千代田区霞が関 3-2-5
東海大学校友会館

3. 委員の現在数 4名

4. 出席した委員の数及び氏名

委員長 浅野 幸弘
委 員 神谷 高保
委 員 井潟 正彦
委 員 山崎 元

以上 4名 出席

5. 議 題

最終処分積立金運用実績 (平成23運用年度実績及び平成24年4月末実績) (報告)

6. 開 会

事務局から、本日の第25回最終処分積立金運用委員会は、同規則第4条の規定による定数(委員の現在数の過半数)を満たしているので、有効に成立している旨の報告があった。

続いて、並木理事長が開会の挨拶を述べ、議事に入った。

7. 議事の概要

事務局から、上記5.の議題について、下記の説明を行った。

I. 最終処分積立金運用実績 (平成23運用年度実績及び平成24年4月末実績)

第一種最終処分積立金の平成23年度運用額は、平成22年度積立金受入分から原環機構への取戻額を差し引いた額に、当期の償還額と利息収入を加え、1,773億円となった。

運用内訳は、国債897億円(50%)、政府保証債171億円(10%)、地方債450億円(25%)、事業債255億円(15%)と、ほぼ計画通りの運用を達成できた。

平成23年度購入債券の平均利回りは1.20%で、運用の評価基準となる同時期における長期国債応募者利回りを運用計画に基づく月々の購入予定額で加重平均した利回り1.19%を上回った。

平成24年度運用額は、平成23年度積立金受入分から原環機構への取戻額を差し引いた額に、当期の償還額と利息収入を加えた1,209億円を見込む。平成24年4月末実績では、ほぼ計画通り運用を実施している。

また、保有している債券の中で、従来から指定格付機関による格付がAA-未満となってい

る地方債及び事業債並びに無格付地方債のうち財務健全化基準に基づき要注意区分（総合判断）としている地方債については、Tスプレッドの状況や発行体の経営状態などを勘案し、現時点において、売却を要する状況にはない。

第二種最終処分積立金の平成23年度運用額は、平成22年度末預金運用残高と平成22年度積立金受入分の合計額から原環機構への取戻額を差し引き、当期の利息収入を加え43億円となった。

運用内訳は、5年国債43億円（100%）と、計画通りの運用を達成できた。

平成24年度運用額は、平成23年度積立金受入分から原環機構への取戻額を差し引いた額に、当期の利息収入を加えた25億円を見込む。平成24年4月末実績では、ほぼ計画通り運用を実施している。

※運用年度対象期間は平成23年3月から平成24年2月まで。

上記I.の議題について了承した。

8. 次回スケジュール

平成25年2月上旬から中旬を目途に開催したい。

9. 閉会

以上をもって議事全てを終了し、閉会した。

<委員会で寄せられた意見>

最終処分積立金運用実績（平成23運用年度実績及び平成24年4月末実績）

○今回要注意区分の対象となった債券については、Tスプレッドの状況等を勘案し、継続保有することに問題はないのではないか。

以上

事務局：資金管理業務部 TEL：03-3534-4581